



本朝名公詩集

卷中





本朝名公墨寶卷之中

目錄

伏見院

後伏見院

為圓親王



為道親王

為鎮親王

為朝親王

為純親王

近衛閑白信基

本門亦光悅



伏見院

山  
廬  
採  
薇

雲  
不  
戢



洞中栽樹

鶴先知

鳳池後面

新煉月

龍闕前頭

薄暮山



擊豹印時

葉葉露

山睡甲日

偏花風

落枕波聲

分岸一葉



南 道板心

あまの

生る

じ め の む ら

あまの

あまの

あまの

あまの

あまの



まゝに  
しるし  
の  
まゝ

まゝに  
しるし  
の  
まゝ

まゝ

まゝに  
しるし  
の  
まゝ

まゝに  
しるし  
の  
まゝ

まゝ

まゝに  
しるし  
の  
まゝ

まゝに  
しるし  
の  
まゝ

まゝに  
しるし  
の  
まゝ

まゝに  
しるし  
の  
まゝ

まゝに  
しるし  
の  
まゝ



冬よきしはな

かたね

記と

本乃

る

あ

あ

雲は物集る

し海と色に

かくあを

あ

春の







竹  
簞  
了  
以  
上

願  
總

多

賣  
藥  
贈  
琴

歸  
去  
重  
山  
風

吹  
東  
桂  
花  
枝



世間半子須

史の巻名也

人を見者其奈

母のふりけ夢也

うたひの心也

あふゆきもきす

あふゆきもきす



あはれにまかりあはれ

いくぢの屋とあはれ

あはれとあはれ  
のあはれ

あはれとあはれ

あはれとあはれ

あはれとあはれ

あはれ

あはれとあはれ

あはれとあはれ



らきりーにあぬ

きくともおこし

乃

あまのよのあま

うるんさる

守り

贈一品女園親王

看子夜凍

聲了不答



老弱手晚

曠相為

十月江南天

氣好可憐冬

氣似春華

七反夫氣倍



例下官位取

屋右官亦白

通过七白如卷

如焚不知者力

了然心在便

花瑞结如河



欲借車約大  
河過車船是  
知如然過此  
覺

厚人志不  
又漢友之  
可屈死  
院



因履金龜行

酒烟會其以冷

美室各之如奇

教藝雅孝志以

瑞庭又古如老

杖玉尺百久人子



勅抄の楷教を

正しく納涼く地

河を又もあぶら

年毎に書かす

早のり昭中

給如る一擧



吾知此物亦有一種

之語乃始知之

河相之飲飲的也

可來於高心德也

乃如也

海濱之成也



海湧之直下無底  
旁無多過雲濤煙浪  
最深處人傳中有  
三神山之生不死

藥服之羽化為天仙  
秦皇漢武信此謠方  
去年採藥去蓬萊  
今古但聞名在大水



無覓處海濤之風  
浩之眼字不見蒼  
兼鳴不見蒼蒼不  
敢歸童男仆女舟

中一先徐福文成多  
遊地之元右一老也祠  
海天志瀛山塚上杜  
陵頭策策一老也風



吹簫弄笛何說也

元聖祖天子

素不言仙三

白日孫

自人

~~~~~

交

如

計



みくのもも人

かきくむさかきくむ

ていしんむさかきく

い酒はくふ

あま

花の多ふ枝

たはくはあ

あ

あはくはく

あまもあま



かきふ

らみ葉

い

て

はま

ち

は

い

ふ

の

かき

ら

み

あ

の

は

あ

し

を







新 蓮 黄

光 蟻

露 華 三 分

半 新 花 一 白

あまの原 子

はなみ 子

みさの

あまの

あまの

あまの



叙やのこし

あしゆふ

しよ

いよ  
はのこ

あしゆふ  
院

二品親王の鎮

は  
藤露庭

翠竹  
紗花色

燦中  
堂名勢



たふさく群の

庭さく白象

如きく ちりね

梅心

を

三むさく乃く免

不堪紅葉

青苔地

又先涼風

響る天



志ろ 推色 時ぬ ちん

いろう めが 山 巻

した 葉 の ろん

ゆみ 葉 ー に たり

二品 尊 朝 親 王

風 生 竹 葉 志

間 外 月 照 松



河聲と川

笛春不用閑

城園花落随

風急入雲

夕の雲如雲

花をさかすみ



寺門心也記

苑乃子

力也

當青蓮院殿三品并純親王

池吟水無三

伏友松子風

有 一 聲 林



馬 行 乃 一

井 此 三 川 一

お の 心 じ ず 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一

一 一 一

清 智 空 静

溪 静 一







近衛殿信基

錦懷曉開雲

母殿白珠秋

寫水精盤



らるるれれ世

さあせはらるる

人のあはれ

あはれ

行宮見月湯

心色夜雨函

猿断腸拜



あけぬるる野合

かゆるる如鹿の

いふふいふくち

かき乃志風

本河弥光様

書

ふらふら

乃也流

あ



一

二

三

四

五

六

七



Handwritten cursive script on the left page, including a large character at the top and several lines of flowing text below.

Handwritten character in the center of the right page, possibly a large initial or a specific symbol.

Handwritten cursive script on the right page, appearing as a single line of text.

Handwritten cursive script on the right page, appearing as a single line of text.

Handwritten cursive script on the right page, appearing as a single line of text.



意之海底

法也

志之極

物之極

少也

神板

法也



一  
女  
子

無  
人

久  
不  
見

女  
子

一  
女  
子  
無  
人

女  
子  
無  
人

一  
女  
子



ひき

糸

界乃之流

付

中巻終



